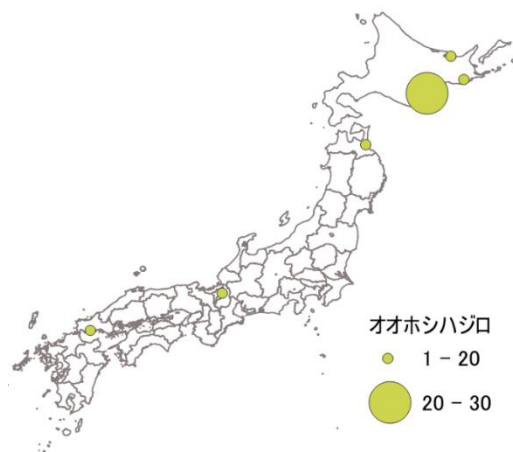


珍しいガンカモ類の記録

日本では観察されることの少ないガンカモ類について、モニタリングサイト 1000 の記録を調べてみました。近年個体数が急増しているトモエガモのように、いま数が少なくても将来増えてくるような種もあります。そのようなとき、こうした記録はいつから変化が起きたかを調べる手がかりになります。なお下記の分布図で同一地点の記録は最大値を用いています。

オオホシハジロ

ホシハジロと近縁のオオホシハジロは北米大陸で繁殖・越冬する種で、日本では希な冬鳥です。モニタリングサイト 1000 では北海道の十勝地方で数十羽が記録されています。群れではなく 1～2 羽という記録が多いので、数十羽が見られる十勝地方はオオホシハジロが渡りのときに集まる中継地になっているのかもしれない。



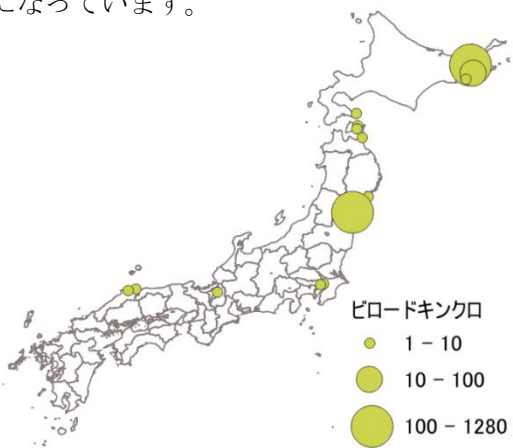
全調査期間でのオオホシハジロの記録地点



オオホシハジロ

ビロードキンクロ

海ガモの仲間は北方に分布している種が多く、ビロードキンクロも北海道から東北にかけて記録されています。希にですが、大きな群れが現れることもあるようです。関東以西では、出現する場合も数羽程度の記録になっています。



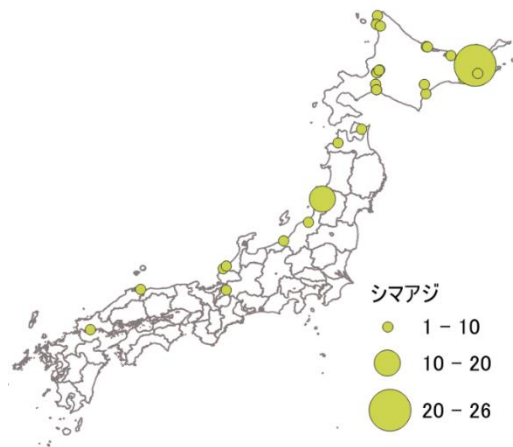
全調査期間でのビロードキンクロの記録地点



ビロードキンクロ

シマアジ

ユーラシア大陸に分布しますが日本では少なく、北海道と日本海側で春と秋の渡り時期に記録されることが多いようです。小型でメスはコガモに似ているように見えますが、実際はハシビロガモに近い種類で、先が広がった大きなくちばしをしています。



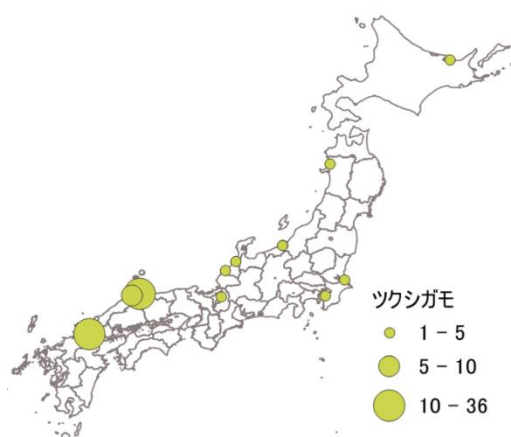
全調査期間でのシマアジの記録地点



シマアジ

ツクシガモ

ユーラシア大陸に分布し、日本では九州から西日本にかけて見られます。干潟を主な生息地としているためガンカモ類調査のコアサイトで記録されることは少なかったのですが、2020年1月から設けた有明海・八代海の広域サイトはツクシガモの主要な越冬地で、そこでのモニタリングが始まっています。



全調査期間でのツクシガモの記録地点



ツクシガモ